

第201号

2023年9月25日発行

発行者 日本共産党利島支部

笹岡 寿一

〒100-0301

東京都利島村850番地

電話 04992-9-0191

Eメール・アドレス

to_sasaoka@yahoo.co.jp

あしたば

日本共産党利島支部機関紙

<知は力> 権力に負けず真実を伝える
「しんぶん赤旗」日曜版をご購読下さい【月930円】村の政治は村の人々のために
あります。皆さんのご要望
ご意見などお寄せ下さい！

無謀

無策

無責任



岸田政権の無謀、無策、無責任な姿勢が際立っています。
約束をほごにしての原発事故の汚染水（アルプス処理水）の海洋
放出、マイナンバー問題でのトラブルでは国民まかせの「総点検」、
史実を認めない歴史わい曲と、政権の暴走は止まりません。

汚染水放出 約束ほごに



政府と東電は2015年、汚染水について「漁業者など関係者の理解なしには、いかなる処分も行わない」と約束。いま、この約束を公然と投げ捨てて海洋放出を強行しています。

野村農水相は、中国が日本産水産物の輸入を全面的に停止したことを「まったく想定していなかった」と発言（25日）。野村発言は近隣諸国に理解を求める外交努力を尽くしてこなかった岸田政権の姿勢を証明しています。

約束も守らず、説明や対話の努力も尽くさず、必要な外交努力を怠り、汚染水を減らす根本対策などにも向き合わないまま、「海洋放出ありき」の方針のもとに放出に踏み切ったのです。

マイナ対応 国民に転嫁



マイナンバーをめぐるトラブル続出を受けて、政府は「総点検」を行う方針です。しかし、政府の対応の実態は感染拡大で多くの死者を出したコロナ対策と同様、無為無策です。

数々のトラブルの根本要因は、現場のマニパワーを無視して、マイナカードの急激な普及を図ったことにあります。こんな状況でマイナカードの運用を続けられれば、トラブルがさらに拡大する危険性があります。カードの運用をいったん停止し、完全・確実な総点検で国民の不安を解消しなければなりません。

そして、来年秋の保険証廃止ありきをやめ、国民と医療現場の声に従って、健康保険証を存続させるべきです。

国民の声を聞かず暴走する岸田政権を、市民と野党の力でストップさせよう

衆院比例東京ブロック予定候補

吉良よし子
参議院議員（東京選挙区選出）参議院議員
田村 智子衆議院議員
宮本 徹党中央政策委員
谷川 智行吉良山添事務所長
坂井 和歌子

日本共産党

衆院比例選挙は
日本共産党など政党名
で投票します。候補者名
の投票は無効になります。



議 会 報 告

ささ おか とし かず
笹岡寿一の

2023年度・第3回定例村議会は、9月19日(火)に開会しました。会期は、22日(金)迄の4日間としました。21日の午前11時0分に閉会しました。笹岡議員の一般質問を中心に、行政報告、議案に関しては、「住民の皆さんに直接的に関係がある」と思われる件について、お知らせします。議案は、条例案件3件、各会計の補正予算案件6件です。



9月議会ではこのような事が話し合われました「小見出しは笹岡」



行政報告

と云う表明であれば、大いに期待したいところです。総合計画には、移住項目は在っても、留学については無いのが気になります。構想から具体的な実施計画に向けての政策課題となっていますか。

【行政報告】6月下旬に小中学校への体験入学学生3名の受入れを行った。受入れは、移住促進の観点から有益である。今後実施していきたい。

【笹岡議員】体験入学と云うのは近い将来、年単位期間の国内(離島)留学制度を想定した上での「移住促進に有益」

と云う意味で述べた事である。

オーストラリア派遣

【行政報告】今年度は中学3年生を対象に7月27日、8月8日迄の間、オーストラリア海外派遣を実施した。学習意欲の向上等の効果が現れており、対象学年に留意しながら今後も事業継続を行っていききたい。

宝島サステナブル・アイランド創造事業

【行政報告】東京都が主催する審査会を経て「サステナブル住宅建設」、「農業振興事業」、「漁業振興事業」、「公園改修事業」の4事業の事業構想承認を頂いた。現在、10月から各事業が円

滑に開始できるよう調整を行っているところである。

3C包括補助事業

「3C包括事業とは、乳幼児・地域共同体・長寿(高齢者)が利用できる施設の造語です。長寿は除かれています。『笹岡』」

【行政報告】複合型サテライトオフィス建設事業を令和7年度までの3カ年かけて事業を進めていく予定であり、現在、基本計画、基本設計、施設内ソリューションについて検討を開始している。

【笹岡議員】住民から、次の問い合わせがありました。

1、アンケートの%数値は、各々回答者が何人中の集約数値なのか。

2、その内、住宅地として買収した富田邸跡地に建設を求めているのは何%か。

3、利用者数、利用料金、及び運営経費の見込みを明らかにされたい。

私は、事業自体は必ずしも否定するものではありませんが、農協の施設との競合が気になると思います。施設としては、交流会館と

トレイラーハウスの活用を提案します。

施設の管理が出来ると共に、建設費も住宅地買収費も不要となり、財政負担の軽減と一石二鳥の効果が図れます。

住民が全館使用するのには年に数日です。外来者の宿泊は、部屋割りをして対処する事にします。再考を求めます。

【行政報告】1、については、43名中36名である。

2、については、掌握していない。

3、については、利用者は島内外含めて、2千3百名を見込んでいます。

利用料は無料を考えている。運営経費については、今後の検討となる。

交流会館とトレイラーハウスの活用は考えていない。

オフグリッド型トレイラーハウス実証実験

【行政報告】実証実験データは今年度末まで取得していきます、そのデータを元に今後建設予定の施設に利島村の環境に合った水循環システムを導入していく予定である。

【笹岡議員】村長は3月議会

で賄う」と答弁していました。現実には、プロパンガスによる発電機も施設してありますし、「東電からの電気も引き込んである」と言います。

村は、何れも「非常用」と言っています。

と云うところ

が、太陽光による

受電能力

は、「電流量が15Aで雨天曇天が3日続く機能

しない」と聞いています。

これでは、電気はおろか、上下水にしてしかり、給湯にしてしかりで、この規模の施設の機能では、住宅には到底適応できないのではありませんか。

この考えの根底には、「持続可能な未来志向」と云う名の下での、「実証実験」と云った、希望的観測に期待するが余りの施策展開で、責任抜きの冒險的な対応ぶりが見られる思いがします。



住民の切実な要望の小さな金額の事業は厳しく拒む一方で、多額を要する大型事業となると糸目無しの金銭感覚が麻痺した執行姿勢があるような気がします。

来年度からは、「南が山公園でバンガローとして活用する」と云うのも、一時の思い付き発想ではありませんか。

施設を供する宿泊には、日々の処理業務が伴います。

空き家が続けば野鼠や蜘蛛の住み家になります。

湿度でカビも生えます。

何よりも村は、キャンプは島内全域を禁止しています。

私が伺った住民からは、南が山公園での宿泊施設の開設に賛同する人はいませんでした。

私も賛同し難い思いがあります。関係業者との競合も気になります。

この施設はテレビ放映されていますが、写真撮影が禁止となっています。

隅総務課主幹「実証実験終了後に南が山に移設するかも

知れない」とは言ったが、「移設する」とは言っていない。

実験終了後の設置場所は未定だが、現在住んでいる人に住宅が出来るまでの間、住んでもらう考えている。

Dr.リットープロジェクト

榎本住民課長 国立病院機構

東京医療センター感覚器センター聴覚障害研究室の神崎室長一行を招へいし、6月16日に社協セミナーとして「耳の健康と認知症予防」の講演を行なった。

また、17日及び18日の聴力検診、「聞こえ」の何でも相談、補聴器無償貸出をした。

次回は12月上旬に6か月後の確認を行う予定である。

带状疱疹ワクチン

榎本住民課長 2回目接種は9月7日(木)から実施予定である。対象年齢を50歳以上

に引き下げて、令和6年1月3月に実施できるよう調整

している。

焼却施設の入札不調

上野環境建設課長 6月20日に、焼却施設について、予定価格6億円を公表し、条件付一般競争入札公告を実施したが、応札希望者がなかった。

今後に向けて、整備内容等の変更も含め、再調達の方法を検討している。

笹岡議員 入札結果が不調と云う事で、「整備内容の変更も含め検討中」との事です。更にも含め検討中」との事です。更にも含め検討中」との事です。

模で事業費は1億数千万円」と言っていたのが、わずか1年足らずの間に議会には相談どころか報告すらなく、6億円にも及ぶ事業になっていま

した。その後の議会質問には、「内容が固まっていけないことで公表できなかった。秘密とはしていないが、そう思われ

ても仕方がない。反省する」と言いつつ、それも話だけで

今日に至るも一向に公表しない状況にあります。

近頃の高額な事業には、公表し難い何らかの事情でも伴うのでしょうか。

供用開始前年の後半期になっ

ても、施工設計も公表されず、事業費も未確定と云う状況にあ

つて、議員協議会では、「何も聞いていない。どうなっているのか」と心配しています。

住民の中には、「完成する訳がない」と断言する声もあります。今になって入札の応札者なしの公表ですが、6年度供用開始に変更ありませんか。

「質問途中に菅瀬副村長から休憩の要請があり、全議員が出席して行政と協議した結果、今後の行政の対応を見守る」と云う事になり、質問を留保しました。Ⅱ世岡

猫の避妊去勢手術 上野環境建設課長 8月17日

18日に飼主のいない猫23頭の避妊去勢手術を実施し、譲渡会で譲渡する猫3頭を麻布大

学に引き渡した。引き続き、飼主のいない猫の減少を図っていく。

猫の減少を図っていく。

猫の減少を図っていく。



質問に先立って



笹岡議員 この7月下旬に、住民から議会と行政の在り方について、意見が寄せられました。要旨は、「議会を見てみると住民の要望など、議員が良いことを質問しても近頃の行政は、ほとんど取り上げない。議員は議案や住民の意見、要望について話し合っている。合意したことは、全議員が責任を以て実行すれば、行政も受け止めざるを得ないのではないか。私と同じ考えの人は、他にも何人もいる」と言う話でした。

私が、「貴方の考えは、全議員が数回の研修会で大学の教授らから受けた講演の内容と同じです。全議員が改革に賛同して徳島県の町議会へ視察に行った」経緯を説明すると、「そこまで取組んできて、何故やめたのか。議会が変われば、我々も積極的に議員に話が出る。ぜひ改革を実現して欲しい」との話でした。



私は、後に数人の人にも聴いてみましたが、その全ての人々が、「議員間の話し合いは必要だ」と言う答えでした。その人たちから聴かれた意見の一部を紹介します。

1、3月議会で予算が否決された時は、議会が一致結束した姿が見られた。あれは偶然ではなく、議員同士が話し合いの結果の事と思う。

2、行政は、今の議会では、議案は議長の手1本で決まる事が分かっていて、議長との話し合いを重視して、議会に対する緊張感が薄れている。

3、議会改革の取り組みをやめたのは、予算が否決されたことで、議員同士の話し合いを恐れた、有力な人物から圧力があつたからではないのか。

4、今の役場には住民の声が届かない。住民の意見や要望の実現に努めるのが議員の役目と思うが、今の議会は村長の言いなりで、それも期待できない。

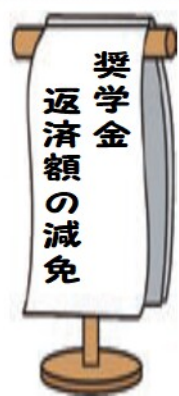
5、議会は、村長の下請け会社ではない。住民が頼れる

島外診療の際の旅費助成

笹岡議員 年齢と所得制限を設けた助成では、家族構成や家族環境に依っては実情に合わない措置となります。従来どおり、一律に助成するよう要綱の改正を求めます。

榎本住民課長 本村では、特に低所得の高齢者に対して、手厚く補助を行う方針を示しており、一律の補助は現時点では考えていません。

笹岡議員 「低所得の高齢者に手厚く」と云ったところで、一回に1万5千円です。私が「家族環境にもよる」と言っているのは、「所帯主が高額所得者であっても、配



偶者、若しくは、扶養関係にある人が低所得者であれば、当該者は対象になる」と云う事です。その一方で65歳未満の低所得者は対象になりません。公務員の除外規定の削除と併せて、交通費の定額と1泊につき、6千円に宿泊日数を乗じた合計額の80%を全住民を対象に支給するよう要綱の改定を求めます。

榎本住民課長 再検討します。

笹岡議員 前議会で弟子丸教育長には、教育費に係る経済的負担について、極めて理解ある認識を披歴して頂きました。村長に於かれては、教育長の理解ある認識を受け止めて頂いて、返済額の減免に尽力を求めます。

年額80万円程度の歳出です。**弟子丸教育長** 他町村と比べて先んじた制度を整えていると認識しており、奨学金返済額の一定額の一律免除について、現時点では考えていません。



られるかと思いますが、それも昨今では住民の要望ある中で東京都をはじめ、全国的に急激に拡大しつつあります。

奨学金で云えば、先般の質問でも詳しく経過を含めて述べたように、奨学金貸付制度それ自体、島しよでは実施している町村が無い中で、本村の時の村政によって実施されました。しかも、貸付も返済条件も当時は他に事例を見ない画期的な、制度の誕生です。

それが現在では、島嶼の全ての町村で、若干の条件の差異はあるものの実施されています。これこそが、まさに、「先んじた」施策の展開と云えるのではないのでしょうか。

弟子丸教育長「総合的に見て先んじています。

具体的に言えば、修学旅行費、給食費、部活動費など本来は保護者負担ですが、本村では無償となっています。

笹岡議員「先んじている」という視点から見ただけでなく、教育長が認識されているとおり、働く人たちが、経済的に厳しい状況にある今日、奨学生が卒業して就職しても低い初任給で返済するのが厳しい実情に目を向けられて尽

力されるよう引き続き要望していきます。

「先達の村長たちが、港湾も道路も水道、通信、診療所、保育所も整備されていない長き時代に、今日とは比較にならない程の厳しい財政の状況下にあつて、住民と一緒に築き上げてきた、今ある多くの制度実施のおかげで今日の暮らしがあります。

私たちも、その努力と功績に敬意を払い、見習いながら、後世の人たちに佳き制度が少しでも残せたらと思っています。」**笹岡**

旅費規定の見直し

笹岡議員「住民から、

「金は無い」とか、『経費の節約を図る』と言いながら、宿泊費の定額支給は、今の時代に馴染まない。上限額を定めて実費精算に改めるべきだ」との意見があります。

他の住民も、「船舶も島民割引の特2等料金を上限額とした実費精算に改めたらよい」と言います。

速やかな改定を求めます。

榎本総務課長「大型客船特2等ないし、ジェット船の島民引きを適用した料金を支給し

ています。他の島の運用状況も踏まえて、検討したいと考えています。議員の旅費にも影響するので、議会とも相談しながら行っています。

笹岡議員「他島とか議員が持ち出されますが、「他島ではこのようになってる」と紹介して質問すると、「他島は他島」と、その度に巧みに使い分けしています。

これまで旅費について議員に相談した事例など記憶にありません。宿泊費の答弁は避けていますが、村長、議員は同額で、船賃が1等料金の定額支給となっています。

宿泊費もホテル等に宿泊しなくても、一泊につき、1万3千円が定額支給されます。**榎本総務課長**「新年度からの実施で検討します。

椿林の放置林対策

笹岡議員「農協は油の集荷

量の減少を心配していますが、最大の要因は、放置林の増加とこれに並行するかのような状況下での、生産従事者の減少と高齢化があります。

この10余年の村の取り組みを顧みると、構想は色々述べ



無い」と考えます。

尚、これによる事業の参加資格者は、漁業者に限らず希望者を対象とします。

住民の中に「猛暑の中での下草刈は厳しい。将来の世代を考慮した新産業の導入を考える必要がある」との提案があります。検討を求めます。

萩野産業観光課長「現在、農協で実施している新規就農者事業と連携しながら、参入し易いよう、機械補助なども継続して行っています。

現在、村では最新技術の導入に向けた実証事業を実施しており、今後の椿産業の活性化にいかしていきます。

漁業者個人が椿産業に参入することは、問題ないと考えています。

笹岡議員「農業機械の補助対象の拡充を求めます

実証事業とは何ですか。**萩野産業観光課長**「新たな機械補助の対象には、農協の推薦を要しています。

実証事業は自動草刈り機の実験を実施しています。

公営住宅の修理と入居申し込み

笹岡議員「持ち家に住む住

民から、「村は、住宅居住人

からの修理依頼に、誠意を以って速やかに対応すべきだ」との意見があります。

対応の善処を求めます。

他の住民からは、7月4日付の「一般住宅入居者の募集」に関して「規定にある入居期間が15日間では、短過ぎて実情に合わない。見直しを求め」との要望がありました。検討を求めます。

【上野環境建設課長】水回り等の緊急的な修繕に関しては、島外業者の来島に時間がかかることから、現在、入居者の生活に可能な限り支障が生じないよう、職員が取り急ぎ修繕を行っています。

委託事業の在り方

【笹岡議員】先般、最低賃金も上がりました。それ以前に、「物価上昇分だけでも検討する」と言っていました。

検討済みでしたら年度途中でも補正措置を求めます。

【榎本総務課長】今年度途中の実施は困難です。

新年度の実施で検討します。

金属探知機の活用

【笹岡議員】6月議会で、石

野議員の爆発性のある危険物を除去する為の金属探知機の導入を求める質問に、村は、

「機器等を整備すれば、運転やそのメンテナンスにも費用が掛かる」と述べて拒絶しています。

本事業は、数千円から高くても数万円程度の機器を手動操作するもので、運転やメンテナンスの費用を心配するほどの施設ではありません。

現実には炉内での爆発で排気塔が破損している事ですから、新規施設での運用に当たっての対応を求めます。

【上野環境建設課長】一日当たり約560kgのごみを処理する

には、ゴミ袋一つ一つを金属探知機で感知して、人手で危険物を取り出すことは困難です。村としては、住民に分別を守って排出いただくことの周知徹底を図っていきます。

【笹岡議員】時には、「施設費が掛かる」と言ったり、「一つ一つ探知して危険物を手で

取出すのは困難」と言ったりして、作業しないが為の理屈付けに必死の感が伺えます。

1回の爆発で数千万円もの被害が出る事を思えば、「多

少の手間暇を要しても、作業時の探知は必須」とは考えません。事故が起きたら誰の責任になりますか。

【村山村長】責任の所在は難しい問題です。行政と議会に

もあるのかなと思います。

【笹岡議員】これほど議会で事故防止に必要と指摘しているにもかかわらず、それを拒絶してきて、事故が発生した時の責任は、「議会にもある」と云うのは容認できません。

防止策を拒絶してきた行政にあるのは明白です。

生ゴミ処理

【笹岡議員】現実の事態は、分解が遅く、生ゴミ処理策の根本的な見直しが必要ではありませんか。

この質問原稿を読まれた住民から疑問と要望があります。答弁を求めます。

1、村が回収して腐敗した生ゴミの埋め立ては合法か。

2、「3年たてば無くなる」と言ったのは、人の受け売り話を説明したのか。

3、回収バケツに表示されている“EM堆肥化”を事業として実施を求める。

【上野環境建設課長】3年間で90%が減容されるものですが、想定以上の

生ゴミの回収がある

り、分解が追い付かない状況で

す。このため、ジシ



グヤードにおいて、減容化を行っています。

EM菌を用いた事業については、その評価が必ずしも定まっていると云えないことから、実施いたしません。

【笹岡議員】「ジシグヤードにおいて、減容化」とはどう云うことですか。

EM菌の効用は、土壌改良材はもとより、多岐に及んで世界的にも幅広く評価されています。残り時間が無いので次回に再質問します。

ふるさと納税

【笹岡議員】千葉県のある村の村長の話によると、「数年前には70万円程だったふるさと納税額」が今では「10数億円になっている」と言います。

返礼品や手数料等の経費は不明ですが、それにしても大きな自主財源です。

返礼品費用が大きいことに關しては、その利益は住民が受けることにすれば、二重の経済効果が生まれてきます。

返礼品の商品や宿泊券の発送実務は受益当事者扱いにすれば、村の実務負担は相当軽減されます。

検討されては如何ですか。

【榎本総務課長】魅力ある特産品などの返礼品が寄付金額を増やすことにつながると考えています。返礼品の拡充については、今後も検討していきたいと考えています。

【笹岡議員】この件は、時間切れになりましたので、再質問を次回に持ち越します。



議案

★議案番号と利島村は省略

榎本総務課長 安全管理措置・デジタル田園都市国家構想戦略DX推進支援業務費 5百72万円

【内容】 個人情報安全管理措置において要綱を作成する必要があり、庁内管理体制の確立、及び職員研修を含めた支援委託を行う。

「私が、本議案審議中の質疑で健康保険証の廃止が、「この10月から」と発言したのは、インボイスと混同していました。健康保険証の廃止は来秋とされています。お詫びして、その部分の発言を撤回します。」**〔世間〕**

榎本総務課長 サステナブル・アイランド創造事業支援委託費 6千6百93万5千円

【内容】 サステナブル住宅建設事業、農業振興事業、漁業振興事業、公園改修事業について、10月よりスムーズに着手できるよう補正計上を行っている。

総務課主幹 複合型サテライトオフィス建設地の造成・擁壁工事費 5千5百50万円

【内容】 11月頃には土地の造成及び

擁壁工事について着工する。

補助金の内示を受けており、今年度補助分の、6千万円を計上する。

笹岡議員 一般質問でも述べましたが、住宅用地とする変更は考えられませんか。

隅総務課主幹 その考えはない。

隅総務課主幹 サステナブル住宅土地造成・擁壁工事費 3千5百万円

【内容】 今年度実施見込分の費用を計上する。歳入についても同額を計上する。都補助金 1億9百73万4千円の一部を費用の全額に充当する。

榎本総務課長 庁内インターネット環境改修工事費 2千7百46万4千円

【内容】 歳出科目を見直し工事請負費として支出する。実質は 1千2百46万4千円の増額補正となる。

上野環境建設課長 清掃センター管理経費 修繕費車両・衛生費 1百50万円

【内容】 ごみ収集車、フォークリフトの修繕の増による。

上野環境建設課長 家電処理委託料 1百万円

【内容】 4品目以外の電化製品の増加のため増額する。

荻野産業観光課長 農地台帳システム整備委託料 2百21万9千円

【内容】 農業委員会サポートシステムを導入するため歳出計上した。

荻野産業観光課長 親水レクリエーショ

ン施設補修工事費 1百21万円

【内容】 ろ過設備の基礎の打ち直しが必要となったため。

上野環境建設課長 移住定住促進住宅造成・擁壁工事費 9千5百60万円

【内容】 財源は都の「島しょ山村地域における移住体験住宅整備補助事業補助金」で、4千6百32万6千円の交付決定を受けている。

弟子丸教育長 廃棄物の島外搬出委託料 4百万円

【内容】 体育館トイレ改修工事において、発生した廃棄物等を島外搬出する。

弟子丸教育長 フードタイプ洗浄機購入費 1百32万円

【内容】 購入から20年近く経過している状況である。故障が発生し、修繕が困難であるため買替える。

《討論》

笹岡議員 一般質問、及び議案審議の質疑でも質してきましたが、ゴミ焼却場建設の先行きが全く不明であることや、トレーラーハウス、サテライトオフィスなどの扱いや施設問題、事故対応策に伴う責任所在などに意見の相違があると共に、住民要望の殆どが取り上げられていない状況を見て原案に反対します。

《賛成2◇反対2》

議長職権で可決成立

議会を終えて

村長のブログに、「議員全員の賛成を得るべく説明を尽くしてきたが、それも叶わず最後の討論では、意見の相違なのか。納得いただけなかったのか。納得は間違いないのか。反対の理由を述べていました。本当に残念でした」旨の記述が有ります。

反対意見の議員に「間違いない」と言わなければかりの随分見くびられた批判と云うよりは、暴言に近い記述です。勘違いなどしていません。

反対理由は、明確に述べています。ユーチューブを見た人にも意見がご理解頂けるように、心掛けながら発言しています。自己本位で、気に入らなければ、言葉を振はず外部に投げかける姿には違和感を抱きます。

3月議会の教訓は、「すでに心にあらざる」なのでしょいか。ある市の市長を引き合いにしています。師として仰ぎ夢見てもいられるのでしょうか。

「村のために尽くす」と口で言うのは、た易いことです。

それには、住民の利益の為に「何を、何時、如何なる手法で実現させていくか」普段の政治姿勢が問われます。

共闘の力で憲法9条・13条の政治実現を

市民連合、 共産党に要請



「安保法制の廃止と立憲主義の回復を求める市民連合」(市民連合)は10日、国会内で日本共産党と懇談し、立憲野党と市民の共闘で、憲法9条と同13条の政治の実現を求める要請書を手渡しました。日本共産党の志位和夫委員長は「要請の趣旨は全面的に賛同します」と応じました。

申し入れ・
懇談の動
画はこちら
から

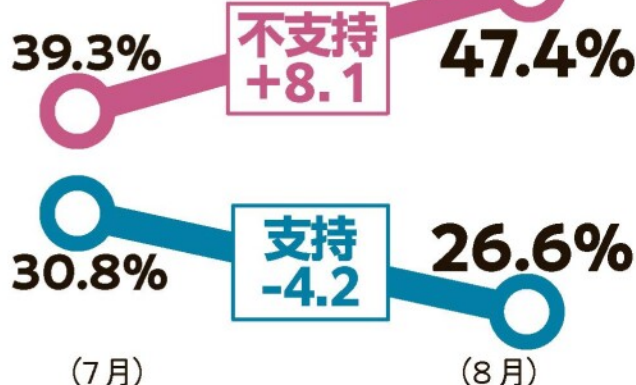


市民と野党の共闘 共産党は一貫して追求

「市民と野党の共闘をなんとしても実現し、総選挙で岸田政治を止めたい」「立憲野党が手をつなぎ、選挙で勝利を生み出してほしい」という市民連合からの要望に対し、志位氏は、「難しい条件はあるが、共闘の再構築のために努力していきたい」と応じました。

岸田内閣 支持率は 2割台へ

「危険水域」とメディアも報道



時事通信が4～7日にかけて実施した8月の世論調査で、岸田内閣の支持率は3カ月連続の下落。5カ月ぶりに政権維持の「危険水域」とされる2割台に転落。不支持率は政権発足以来最高を記録しました。

国民の声聞かぬ岸田政権を退陣に追い込もう

国民の声に耳を傾けず、マイナンバー強制と保険証廃止に固執し、憲法ふみにじる長距離ミサイルなど大軍拡を推進する岸田政権を解散・総選挙に追い込みましょう。

そのために日本共産党は市民のみなさんと力をあわせてがんばります。

日本共産党

住民の皆さんと共に歩む姿勢を貫きます



利島村議会議員

ささ おか とし かず
笹岡 寿一